

平成 30 年 7 月 15 日

国土交通省国土技術政策総合研究所土砂災害研究部
国立研究開発法人土木研究所土砂管理研究グループ

平成 30 年 7 月豪雨における広島県内の土石流発生状況に関する ヘリによる上空からの調査結果（速報）

1. 調査の目的

土砂災害の報告件数が多い広島県内における土石流が集中的に発生している地域の把握

2. 調査日

平成 30 年 7 月 10～11 日

3. 調査者

国土交通省国土技術政策総合研究所土砂災害研究部深層崩壊対策研究官 桜井亘
国土交通省国土技術政策総合研究所土砂災害研究部砂防研究室交流研究員 鈴木清敬
国立研究開発法人土木研究所土砂管理研究グループ主任研究員 藤村直樹

4. 調査範囲

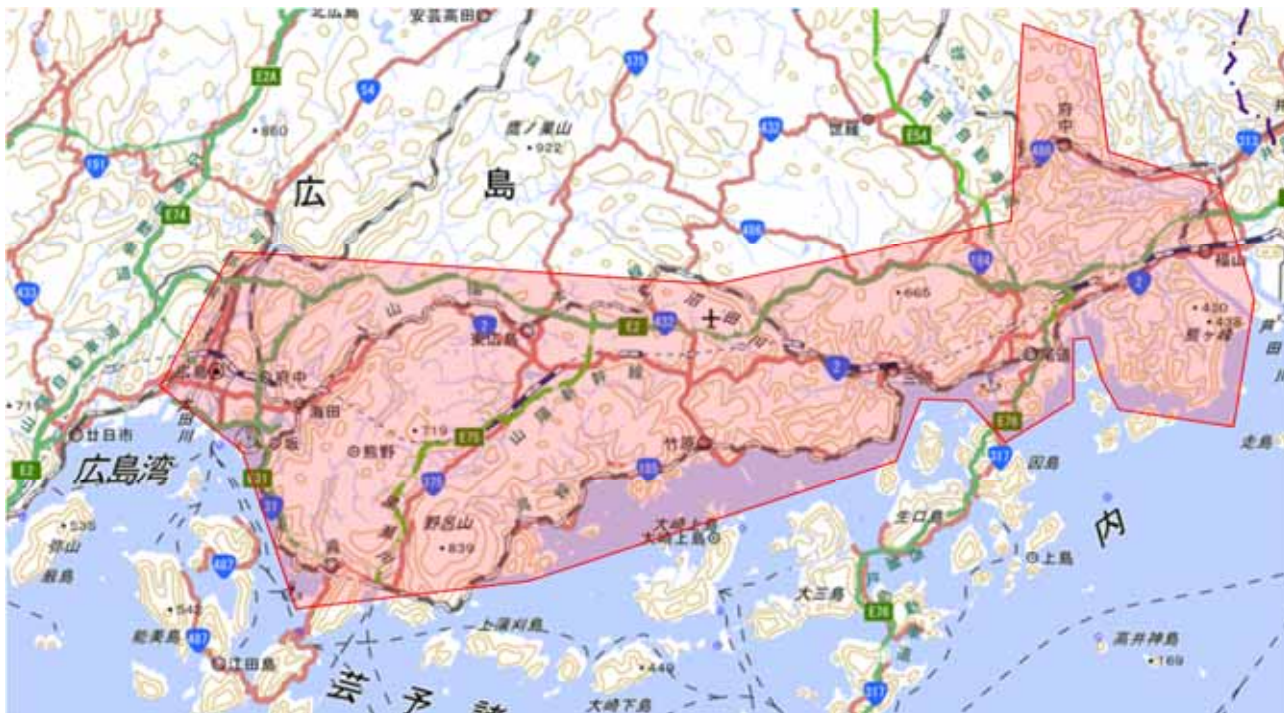


図-1 調査範囲（赤ハッチング範囲が調査範囲），国土地理院の電子地形図（タイル）に調査範囲等を追記して掲載

5. 調査結果

(1) 土石流が集中して発生している地域

土石流が集中して発生している地域は、図-2 に赤枠で囲む範囲であった。



図-2 土石流が集中して発生していた地域，図-1より狭い範囲を示している

(2) ヘリによる上空からの調査結果概要

- ・ 土石流が発生した箇所は、総雨量または降雨強度が大きい地域に集中的に分布しており、特に 24 時間雨量が 400 mm以上の地域の中では、多くの箇所で土石流等の発生が見られた（呉市安浦町等）
- ・ 土石流からの流下土砂により、土砂洪水氾濫が生じている溪流も認められた（広島市安佐北区口田南 5 丁目等）。
- ・ 海岸沿いの入り江の集落では、三方向から土石流が集落に流入し、大きな被害が生じている箇所も見られた（坂町小屋浦 等）。



写真-1 呉市安浦町の土石流の発生状況，この地域では多くの箇所で土石流等の発生



写真-2 安佐北区口田南5丁目の土石流の発生状況，下流で土砂洪水氾濫が発生



写真-3 坂町小屋浦の土石流の発生状況，集落の三方向から土石流が発生